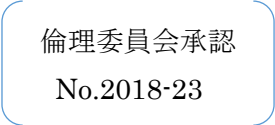


研究課題名 	低栄養高齢患者に対する栄養サポートチームアウトカムのリスク因子
研究対象	2014年1月1日から2018年12月31日の間に南大阪病院に入院され、かつ栄養サポートチーム（NST）の介入があった65歳以上の方。
研究の目的	栄養状態の低下は、日常生活動作（ADL）や生活の質（QOL）の低下、合併症の発生率などに関連するため、治療と並行して栄養管理をすることが重要とされています。今回の研究では、急性期病院でのNSTによる栄養サポートでも栄養状態が回復しなかった患者さんの特徴を解析し、高齢低栄養の患者さんに対するNSTによる集中的な栄養サポートの非成功要因、すなわちリスク因子を明らかにすることを目的とします。リスク因子を持つ患者さんへ早期よりNST介入し、低栄養状態が原因で入院期間が長引く、あるいは従来のADL、QOLを取り戻せなくなる、といったケースを少しでも減少させることに役立てていきたいと思っています。
研究の方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究デザイン：後ろ向き観察研究 2. 2014年1月から12月にNSTの介入があった患者さんをNSTアウトカム（成功・非成功）により分類し、NSTアウトカムのリスク因子を後ろ向きに抽出します。抽出された量的変数のカットオフ値をROC解析により同定します。抽出された因子が妥当であるかどうか、またどの因子が独立してNSTアウトカムに関連するかを2015年以降の患者さんで後ろ向きに検討します。
研究の期間	2019年2月から2021年3月31日まで
研究に用いる試料・情報	血液検査データ、身体所見等
外部への情報提供	個人情報については、記号・番号化などで匿名化します。すべてのデータは当院栄養科で責任をもって管理します。医学雑誌や学会発表に公表される時も、個人を特定されることはありません。
研究組織	社会医療法人景岳会 南大阪病院
<p>本研究は、電子カルテよりデータを転記し、個人情報も管理するので身体的・精神的影響を与えることはなく、不利益並びに危険性はありません。</p> <p>本研究に協力することによって患者さんに通常診療以上の負担をおかけするものではありません。</p> <p>なお、今回の研究に協力しないことによって、当院の診断・治療において不利益を被ることはありません。</p>	
<p align="center">【問い合わせ先または研究への利用を拒否する場合の連絡先】</p> <p align="center">社会医療法人景岳会 南大阪病院 診療支援部 栄養科 大出 佑美 〒559-0012 大阪市住之江区東加賀屋1-18-18 Tel:06-6685-0221 (代)</p>	